



三重県 縁の映画作品



番号	時間	メディア	タイトル	内容	監督	出演
a571	108分	DVD	晩春 (1949年)	妻を早くに亡くした大学教授の父と暮らす娘、紀子は、二人に何かと世話を焼く叔母から縁談を持ちかけられても、父を一人にするのが気がかりで、乗り気になれずにいました。そんな彼女を案じた父は、彼女に結婚を決意させるため、ある決断をします。父と娘の親子愛を中心にした人間模様を描いたホームドラマです。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	原 節子 笠 智衆
a575	125分	DVD	麦秋 (1951年)	北鎌倉に住む間宮家ではいつまでも結婚しようとしないう娘の紀子が何より気がかり。当の紀子は大手の会社で秘書として働き、いまだのんきに独身生活を楽しんでいる。やがて、そんな紀子に縁談話が立て続けに舞い込むのだが…。結婚に興味のない娘と、そんな娘に早く結婚してほしいと気を揉む家族を中心に、さりげない日常の様子をユーモアを交えて小津監督ならではの淡々とした調子で、細やかに描いた感動作品。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	原 節子 笠 智衆
a599	76分	DVD	丹下左膳餘話 百萬両の壺 (1935年)	隻眼隻手の用心棒、丹下左膳と雇い主のお藤は、ひょんなことから孤児ちよい安を引き取ることになりました。ところがちよい安が持っていた金魚鉢には秘密があり、その秘密を知った元持ち主が取り返そうとしたため、左膳たちは壺の回収騒動に巻き込まれてしまいます。果たして壺は誰の手に渡るのか？丹下左膳が繰り広げる人情時代劇。 (日本映画//モノクロ) 【ロケ地：三重県津市一身田寺内町地区】	山中 貞雄	大河内 伝次郎
a601	106分	DVD	夢のまにまに (2008年)	映画学校の学院長・木室と学生・村上の世代を超えた交流。そこで浮き彫りにされる木室と妻、老夫婦の過去。老いと若さ、男と女、生と死をめくるめく映像美で表現しています。また、木室と病を抱えて苦悩する村上との出会いに、かつて戦争で散っていった若者たちの命を重ね、失われた青春が痛切な思いで描かれています。 (日本映画/カラー)	木村 威夫	長門 裕之 葛山 信吾 【三重県出身】
a614	83分	DVD	伊賀の水月 剣雲三十六騎 (1942年)	柳生流免許皆伝の荒木又右衛門は、師・但馬守の推挙を受け、大和郡山の本多家に任官するが、義弟から敵討ちの助太刀を頼まれ、鍵屋の辻で敵を待ち伏せするのだが…。剣豪として有名な荒木又右衛門の活躍を描いた時代劇。男気あふれる荒木又右衛門を、坂東妻三郎が演じている。 (モノクロ作品) 【ロケ地：三重県津市一身田地区】	池田 富保	阪東 妻三郎
a616	116分	DVD	お茶漬けの味 (1952年)	今の生活に不満を持ちながら、友人と旅行に行くことで鬱憤を晴らしてきた妙子と、彼女に馬鹿にされながらもマイペースに暮らす茂吉の夫婦。二人は、親戚の娘・節子の見合いの件で意見が対立する。茂吉が節子をかばい、「無理に結婚させても自分たちのような夫婦になるだけだ」と言ったことに傷ついた妙子は家出。その間に茂吉の海外出張が決まってしまう…。倦怠期を迎えた夫婦を中心に、彼らを取り巻く人々の人間模様を描いた作品。 (モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	佐分利 信
a622	136分	DVD	東京物語 (1953年)	尾道に住む老夫婦が、成人した子ども達に会いにはるばる東京へ行ったものの、それぞれの生活に精一杯の様子に一抹の寂しさを感じながら帰郷します。しかし長旅の疲れから妻が危篤になり、間もなく息を引き取ります。家族や親子の微妙な関係を描いた小津安二郎監督の傑作です。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	笠 智衆 原 節子

番号	時間	メディア	タイトル	内容	監督	出演
a625	88分	DVD	地獄門 (1953年)	平安時代末期、武士の盛遠は、都の騒乱の中で出会った美女、袈裟に心を奪われ、彼女を妻にと望みますが、渡辺渡の妻であることを知らされます。どうしても諦めきれない盛遠は、袈裟に自分と一緒にしてくれなければ彼女の夫や親戚を殺すと脅します。彼女は夫を殺してくれれば彼に従うと応じ、夫の身代わりとなって命を失います。 (日本映画/カラー作品)	衣笠 貞之助 【三重県出身】	長谷川 一夫 京 マチ子
a637	87分	DVD	父ありき (1942年)	中学校教師の堀川周平は、修学旅行で引率していた教え子がボート事故で溺死したことに責任を感じて辞職し、男手一つで育てている息子の良平と共に故郷に帰ります。しかし、再び仕事を探して上京した周平の隣には良平の姿はなく、二人は離れ離れのまま、長い月日が経ち……。父と息子の絆を描いた作品です。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	笠 智衆 佐野 周二
a638	105分	DVD	戸田家の兄妹 (1941年)	5人の成人した兄妹がいる裕福な戸田家。母の還暦祝いで兄妹が集ったその日、多額の借金を残したまま父親が亡くなります。家や家財道具を手放すことになった母親と独身の三女は、長男や長女の家に身を寄せますが、邪険に扱われ、残された別荘地で暮らすことになります。母親や兄妹、それぞれの家族が右往左往しながら父親の一周忌を迎えるまでを描いた作品です。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	佐分利 信 高峰 三枝子
a639	83分	DVD	風の中の牝鷄 (1948年)	終戦後、幼い子どもを抱え、夫の復員を待つ時子は、生活のためにある過ちを犯します。そんな時、夫の修一が帰ってきます。再会の喜びも束の間で、時子の過ちを修一は知ることになります。すれ違う夫婦の苦悩と和解を描いた作品です。 (日本映画/モノクロ作品)	小津 安二郎 【三重県出身】	田中 絹代 佐野 周二
a668	122分	DVD	そして父になる (2013年)	都内で妻みどりと6歳の息子慶多と暮らす良多は、産院からの連絡で、慶多が取り違えられた他人の子どもであったと知らされる。相手方の家族と戸惑いながらも交流を始め、悩みつつも子どもたちの将来を考え、互いの実子を引き取ることにするが……。 (日本映画/カラー作品) (日本語字幕付き) ※冒頭14分映画CMあり	是枝 裕和	福山 雅治 田中 哲司 【三重県出身】
a684	82分	DVD	一人息子 (1936年)	早くに夫を亡くしたつねは、一人息子の良助をたった一人で育てあげ、貧しい生活に耐えながら優秀な息子を進学させます。しかし、東京で出世しているはずの良助は、夜学の教師となっており、妻子とともに貧しい生活を送っていました。上京したつねは厳しい現実を目の当たりにします。 (日本映画/モノクロ作品) ※古い作品のため映像の乱れや音声聞きづらい場合があります。	小津 安二郎 【三重県出身】	飯田 蝶子 笠 智衆
a689	58分	DVD	Good Luck 恋結びの里 (2012年)	小学生の修はクラスに好きな少女がいるが、告白もできない内気な少年。数年前に家を出た姉の突然の結婚宣言に揺れる家族。相手を思う気持ちが強い分だけ、すれちがってしまう切ない思いを家族それぞれが抱えている。少年の初恋と家族の絆を描いた心温まる物語。 (日本映画/カラー作品 ※メイキング映像あり) 【ロケ地：三重県菰野町】	瀬木 直貴 【三重県出身】	山本 正成 足立 梨花 【三重県出身】

番号	時間	メディア	タイトル	内容	監督	出演
a695	72分	DVD	長屋紳士録 (1947年)	戦災孤児の一人を拾ってきた長屋の男は、その子を同じ長屋の女に無理やり預けてしまう。その子が疎ましくて仕方がない女は、どこかに置き去りにしようとするが、なかなかうまくいかない。そのうち、その子どもに情が湧いてきて、二人の間には実の親子のような絆が生まれてくるが…。 戦後間もない東京を舞台にした、三重県を代表する映画監督・小津安二郎の戦後第一作です。 (日本映画 モノクロ)	小津 安二郎 【三重県出身】	飯田 蝶子 笠 智衆



三重県 縁のアニメ作品



番号	時間	メディア	タイトル	内容	監督
d163	18分	DVD	アニメ・ハチ公物語	生まれてまもなく田舎から東京の <u>上野先生</u> の家にやってきた犬のハチ公は、優しい先生とその家族に可愛がられて毎日楽しく暮らしていました。そんなハチ公の日課は、毎朝駅まで先生を送っていき、夕方再び駅まで先生を迎えに行くこと。どんな時でも送り迎えを欠かさないハチ公でしたが、ある大雨の日、どんなに待っても先生は帰ってこず…。心と心のふれあいを感じる感動の物語。また、物語の中でハチ公が防火の大切さを教えてくれます。 <u>【上野先生は三重県出身】</u>	
d164	91分	DVD	母をたずねて三千里	お母さんに会うまで僕はあきらめない――。出かせぎに行ったまま、連絡の途絶えた母を訪ねようと、少年マルコはたった一人で故郷を旅立ちます。ところが、やっとの思いでたどり着いた先に母の姿はありませんでした。マルコは、旅先で出会う人々の温かい応援を受けながら、わずかな手がかりを頼りに母を捜し続けます。マルコは母に会えるのでしょうか…。	高畑 勲 【三重県出身】
d165	91分	DVD	母をたずねて三千里 バリアフリー版	出稼ぎに行ったまま連絡の途絶えた母を探して、少年マルコは一人故郷を旅立ちます。はたして、マルコはお母さんに会うことができるのでしょうか…。あの感動の名作が、バリアフリー対応になりました。副音声・字幕スーパーが入って、目の不自由な方、耳の不自由な方もお楽しみいただけます。	高畑 勲 【三重県出身】
d189	110分	DVD	アルプスの少女ハイジ	小さな女の子がアルプスの山に近い村にやってきました。女の子の名前はハイジ。ハイジは雄大な山々と動物たち、おじいさんや、やぎ飼いのペーター、やさしい人々に囲まれて、のびのびと暮らしていました。しかし、突然やってきた叔母さんに都会へ連れていかれたハイジは、そこで病弱な少女クララと出会います。クララと仲良くなりますが、都会になじめないハイジはホームシックになり、村へ帰ることになります。ヨハンナ・スピリ原作。三重県出身のアニメーション映画監督、高畑勲さんが演出に関わった作品です。	高畑 勲 【三重県出身】



三重県出身者によるその他作品



番号	時間	メディア	タイトル	内容
j108	20分	VHS	桂福団治 心の手話落語 (1) 手話で楽しむ ニッポンの民話	桂福団治さんは、三重県生まれ。 78年に手話落語を考案し、81年には手話落語教室を開講しました。以来、手話落語の第一人者として、幅広く活動されています。このビデオでは、子ども向けに(1)「ツルの恩返し」を感情たっぷりに(2)「どっこいしょの豆腐」ユーモアあふれる話を軽快に(3)「鶴亀さん」を民話版「寿限無」を洒脱に手話と独特の語り口で演じています。親子で手話の学習をすることもできます。
j109	25分	VHS	桂福団治 心の手話落語 (2) 商いの心を 学ぶ手話落語	桂福団治さんは、三重県生まれ。 78年に手話落語を考案し、81年には手話落語教室を開講しました。以来、手話落語の第一人者として、幅広く活動されています。このビデオでは、病気の母親と姉を助けるためにしじみ売りをしている12歳の少年。この少年に心を打たれた親方は……。小さな少年から商いの基本と心得を学ぶ感動のお話です。心温まる感動の手話落語を通じて手話について学ぶことができます。

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f17	30分	VHS	伊勢の遷宮 御神木篇	平成5年（1993年）に行われた第61回神宮式年遷宮のその祭儀である山口祭をはじめ御杣始祭、御樋代木奉曳式御船代祭などを中心に御樋木奉搬に関わる奉祝行事等を紹介しています。
f21	21分	VHS	お木曳車の誕生	20年に一度の伊勢神宮式年遷宮で御用材奉曳に使われる「お木曳車」の製作工程を紹介する貴重な映像記録です。
f22	60分	VHS	丹生俣の獅子舞	一志郡美杉村丹生俣に古くから伝わる郷土芸能「獅子神楽」を紹介するとともに伝承保存に取り組む地区の人々の熱情を描いています。
f23	40分	VHS	伊勢の遷宮 お木曳篇	第61回神宮式年遷宮は、平成5年（1993年）に行なわれました。その御用材を搬入するお木曳行事は61年4月から5月にかけて、地元神領民が奉仕する80の奉曳団12万人、それに全国から大勢の1日神領民も加って、勇壮な川曳き、陸曳きによる一大絵巻が新緑の伊勢市で繰りひろげられました。
f28	30分	VHS	西黒部の意非多神社 のお田植祭り	意非多神社は、農耕と生産の神として和銅3年（711年）に建立されました。ビデオは平成2年5月6日、7年ぶりに行われたお田植え祭りの様子を紹介しています。
f38	30分	VHS	北陸東海日本まんなか紀行 ケンカ祭りのころ 三重県尾鷲市	2月1日から5日間行われる紀州の奇祭（ヤーヤ祭り）。神様を迎える家（当家）がある当務町の活躍を軸に人々の祭りへの情熱を描く。
f47	37分	VHS	国選択 北勢・熊野の鯨船行事 総集編	自然をあいてに命をかけ、暮らしてきた先人たちの思いがさまざまな形態となって、この三重県に鯨船行事となり、今も昔を伝承している。海の男の祭り鯨船行事、平成3年度に収録し記録したもの。
f50	42分	VHS	伊勢の遷宮 総集編	第61回神宮式年遷宮が行われた。祭祀の伝統だけでなく、建築、工芸技術を伝承していく文化的貢献の模様を記録する。
f51	42分	VHS	伊勢の遷宮 建築編	平成5年春に行われる神宮式年遷宮において、選ばれた宮大工たちが古代から伝承する技術で建築造を完成させていく姿を描く。
f60	89分	VHS	関町の伝統芸能 －向井のかんこ踊り－	向井のかんこ踊りの歴史と概要、踊りの形態などについて詳しく説明しています。
f61	14分	VHS	関町の伝統芸能 －正調鈴鹿馬子唄－	関町の伝統芸能である正調鈴鹿馬子唄の歴史と概要、唄の形態と装束について詳しく説明しています。
f63	58分	VHS	三重の民謡 労作歌・わらべ歌	このビデオは「三重県民謡ビデオ作成事業」として、平成9・10年の2カ年にわたり、三重県教育委員会が文化庁の補助を受けて実施したもので、三重の民謡記録作成指導委員会の指導と関係市町村教育委員会、関係保存団体等の協力を得て県内に伝承されてきた労作歌やわらべ歌を記録したものである。ふるさとの人々の生活心情や生業の姿を今に伝える大切な文化財・民俗資料として学術的見地から映像として記録されている。（2本組み）

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f65	21分	VHS	関町の伝統芸能 ・関の山車 ～木崎～	東海道の宿場町鈴鹿郡関町は古代の鈴鹿の関が置かれたことが地名の由来。昔ながらの街並が今も残る関宿の街は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。関の夏祭はかつて16基もの山車が街道を埋めたといわれていますが現在は4基が残るのみです。その中で特に大形で立派な木崎地区の山車は今も夏祭の主役として人々に受け継がれています。木崎の山車と祭りの様子をお囃子の実演を交えて詳しく記録しています。
f67	43分	VHS	関町の伝統芸能 ・坂下獅子舞	鈴鹿郡関町の坂下地区は東海道五十三次の四十八番目の宿場町として栄えたところ。坂下地区に伝わる獅子舞は片山神社の祭礼として今も地元の人々に受け継がれています。その由縁から衣装、舞い方、御神楽の演奏の実演と祭の様子を詳しく記録しています。
f69	22分	VHS	上野天神祭 祭り囃子が聞こえる町	上野天神祭は毎年10月23日の宵宮、24日の足揃え、25日の本祭と3日間、伊賀上野の城下町にくり広げられます。神輿行列、ひょうつき鬼、9台のだんじりと祭囃子ものにぎやかに秋の伊賀上野に約四百年も昔の城下の様子と町人文化の栄華を生き生きと再現する歴史絵巻。
f73	29分	VHS	諸手船 鵜殿村文化財	鵜殿村は昔熊野水軍の根拠地でした。その水軍の基本となる造船や航海技術は太古の昔から発達し、ここで造られた船は全国の海で活躍しておりました。これらの古い歴史と伝統の中に今も伝わる「諸手船」とこの船の上で演出される「ハリハリ踊り」を紹介します。
f74	48分	VHS	ゲーター祭 ～鳥羽市神島～	「ゲーター祭」は、神島の氏神八代神社のお祭りで、大晦日から元旦の明け方まで島をあげて無事に新年を迎えるよう祈願されます。三重県の無形民俗文化財にも指定されているこの祭りを、島民による準備の段階から詳細に紹介してあります。
f82	12分	VHS	伊勢 ー日本の心がここにあるー	伊勢を映像と音楽のみで紹介。伊勢の四季ー宮川堤、外宮勾玉池、伊勢志摩スカイライン、五十鈴川。ロマンと伊勢らしさを求めてー内宮、外宮、神宮徴古館、神宮美術館、神宮農業館、神宮文庫、金剛證寺、おはらい町、古市、河崎、古市参宮街道資料館、郷土資料館、尾崎号堂記念館。祭り、うた、踊りー御頭神事、御頭神事祭礼、馬瀬狂言など。
f131	83分	VHS	関町の伝統芸能 ・市場のかんこ踊り	鈴鹿の関で知られる関町加太の市場地区に室町時代より今日に伝わるかんこ踊りについて衣装や踊り方等を実演を交えて詳しく紹介します。
f216	137分	VHS	ふるさとの届けもの ～伝えたい三重のおはなし 北勢地域・伊賀地域	三重県にはたくさんのおはなしが残っています。今回は県内のすべての市町村からおはなしを一つずつ選んでいただきました。また、子どものころ聞いたおはなしの雰囲気再現するため、県内にお住まいの方々におはなしを読んでもいただきました。絵本、CD付。北勢地域・伊賀地域。
f217	109分	VHS	ふるさとの届けもの ～伝えたい三重のおはなし 中勢地域	三重県にはたくさんのおはなしが残っています。今回は県内のすべての市町村からおはなしを一つずつ選んでいただきました。また、子どものころ聞いたおはなしの雰囲気再現するため、県内にお住まいの方々におはなしを読んでもいただきました。絵本、CD付。中勢地域。

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f218	121分	VHS	ふるさとの届けもの ～伝えたい三重のおはなし 伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県にはたくさんのおはなしが残っています。今回は県内のすべての市町村からおはなしを一つずつ選んでいただきました。また、子どものころ聞いたおはなしの雰囲気再現するため、県内にお住まいの方々におはなしを読んでもいただきました。 絵本、CD付。伊勢志摩地域・東紀州地域。
f222	76分	VHS	水沢野田町太鼓踊り (保存伝承用)	四日市市野田町には太鼓踊りが伝承されている。踊り子は二人づつ組になって同じ柄の浴衣を着用する。胸には「締め太鼓」で首から紐で吊す。大型のもので手にバチを持つ、太鼓は実際に太鼓として使用されるが、かんこ踊りのように別にガクのようになく抜き胴の太鼓は必要とされない。現在、秋祭り(10月の第二土曜日)と地蔵盆(8月24日前後の日曜日)の年2回実施している。
f223	20分	VHS	お諏訪踊り (保存伝承用)	鈴鹿山麓に広く分布する太鼓踊りの一つである。雨乞いと庄屋辻久善の功績を讃えるために、締め太鼓をつけ花笠を被って数人が輪になって踊る。現在、お諏訪踊りは7月31日に足見田神社で行われる水祭りに奉納されている。(平成14年7月収録)
f224	21分	VHS	吉澤嘉例踊り	吉澤地区の嘉例踊りは、現在、体育の日を祭日とする鵜川原神社が当番に当たる、6年に一度奉納することになっている。菰野藩主が奨励したため盛んになった。杉谷嘉例踊りのものと似ているが、農民の仕事着で踊るところは杉谷嘉例踊りと異なる。
f225	29分	VHS	杉谷嘉例踊り	鈴鹿山麓の水不足地帯に伝承されていた雨乞い神事の一つである。若者連を中心に太鼓・笛・鉦等に合わせで踊る。(実施日 8月14日)
f226	20分	VHS	広瀬のかんこ踊り	鈴鹿市広瀬町では、年3回(天王祭・盆・秋祭り)、かんこ踊りがおこなわれる。天王祭は、夏の疫病退散を祈るために神明社境内でかんこ踊りが奉納される。盆は新仏を供養するための念仏踊りで、秋祭りには豊作を感謝して神社で踊る。広瀬のかんこ踊りは神と仏どちらの場合でも踊られている。鈴鹿山系における太鼓踊りの中では、鈴鹿市の南部周辺に多く分布する芸能の一つである。庭の中央へ花笠を立てガク打ちも加わって踊る。
f227	20分	VHS	池山かんこ踊り	かんこ踊りは、亀山市の無形民族文化財に指定されている。現在、秋祭り(10月の第二日曜日)・盆の8月14日・地蔵盆の8月24日と年3回踊っている。踊り子三人とガク役二人が組となり、踊り毎に交代することになる。踊りの場面ではガクが全体のリズムを刻み、その外側に「ウマヅマ」や三人の笛と二人のほら貝が加わる。
f228	27分	VHS	唐人踊り 天王祭りの記録 (保存伝承用)	唐人踊りは、鈴鹿市東玉垣町の氏神須賀神社の春祭りに、仮面を被り唐人帽、唐人服でラッパ等を持った3人が活発な踊りを行う。(実施日4月上旬の日曜日)
f230	29分	VHS	鈴鹿山系太鼓踊り	(1)池山かんこ踊り(亀山市安坂山町池山地区)(2)広瀬のかんこ踊り(鈴鹿市広瀬町)(3)水沢野田町太鼓踊り(四日市市水沢野田町)(4)お諏訪踊り(四日市市水沢町)(5)吉澤嘉例踊り(菰野町吉澤地区)(6)杉谷嘉例踊り(菰野町杉谷地区)

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f231	25分	VHS	山神の獅子舞 (保存伝承用)	山神の獅子舞は、三重県度会郡玉城町に伝わる芸能である。現在、祭日は1月最終日曜日となっている。山田寺（臨済宗）の境内で舞わし、獅子が寺外へ出ることはない。赤と黒の面をつけた魔物に扮した2人が、見物人を追いかけ、子供は笠松を投げつけて逃げ回り、やがて獅子2頭が魔物と対決し、屈服させるという門外不出の獅子舞である。
f233	111分	VHS	猪名部神社上げ馬神事 (長編)	東員町北大社猪名部神社の春の大祭の一環で「上げ馬」と「流鎗馬」が行われる。多度大社と共に数少ない珍しい神事である。(実施日 4月第1土日)(説明書なし)
f235	27分	VHS	南楠の鯨船行事(短編)	伊勢の海でも鯨が捕れた時代に豊漁を祈る行事として行われていたものと考えられている。楠の鯨船は幕末の頃から年中行事として行われるようになった。鯨を追う姿をまね、法衣に鉢巻姿の若衆連が鯨船をあやつり、前後左右にゆさぶって町を練り歩く。楠の「鯨船」は、文化庁より「北勢・熊野の鯨船」行事として無形民族文化財の選定を受けている。この内容は15年度祭礼の記録である。(実施日 体育の日前日の2日間)(説明書なし)
f236	167分	VHS	伊勢太神楽 長編R-1	太神楽は、代わりに神楽を奉納するという意味で、5～6人が組になって西日本を回る。12月24日には桑名に帰り、増田神社で奉納する。獅子頭を被る神楽舞と放下という人寄せの曲芸からなる祭りの様子を収録したものである。祭りの熱気と雰囲気伝えるダイジェスト版(前編) (説明書なし)
f237	44分	VHS	伊勢太神楽 長編R-2	太神楽は、代わりに神楽を奉納するという意味で、5～6人が組になって西日本を回る。12月24日には桑名に帰り、増田神社で奉納する。獅子頭を被る神楽舞と放下という人寄せの曲芸からなる祭りの様子を収録したものである。祭りの熱気と雰囲気伝えるダイジェスト版(後編) (説明書なし)
f238	25分	VHS	松明調進行行事	東大寺二月堂「お水取り」の達陀(だったん)行法に使われる松明(たいまつ)を、赤目一ノ井の松明講の人たちが、毎年寄進しています。松明講の人たちは、2月11日に松明山から檜を切り出し、極楽寺の境内で「お松明」づくりをします。3月10日には、道観塚で「松明調進法要」を行い、12日に二月堂に奉納します。
f239	41分	VHS	尾鷲ヤーヤ祭	「尾鷲ヤーヤ祭」は、三重県尾鷲市に鎮座する尾鷲神社の祭礼です。市内各町のヤーヤ衆が祭りを盛り上げ、華やかな練り行列や手踊りのほか、古礼に則った弓引き行事が営まれ、さらに年一度、ご神体の「お獅子」が出現するなど内容的に多彩な伝承文化です。
f240	31分	VHS	八幡神社の若子祭	三重県名張市滝之原では正月行事として毎年1月9日に若子祭りが行われています。過去1年間に地区内で生まれた男児と他所から養子にきた者を若子として無病息災と成長を祈願します。神事は血盟の盃で始まった後に弓取りの行事があります。
f241	29分	VHS	観菩提寺正月堂の修正会	伊賀上野市島ヶ原村の正月堂(観菩提寺)では毎月11、12日に正月堂修正会が行われます。正月堂修正会は県の無形文化財にも指定され、村内7つの頭屋が行う練り込み、本堂内で行われる達陀(だったん)などユニークな行事です。

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f242	28分	VHS	志摩立神の盆行事	江戸時代、立神は東配、西配、南配、北配の4地区に区分され、村の諸行事は九つの座に起因する九人役制によって仕切られてきた。この制はいまも残り、宗教行事については九人役が権限を有し、盆行事も九人役が主体となり執行される。「陣ばやし」「ささら踊り」「なむで踊り」は、5年目ごとの8月14、15日及び特別の事由があるときに行われる。
f245	35分	DVD	南伊勢町古和浦山の神祭り	古和浦は、平成17年9月まで三重県度会郡南島町であったが、同年10月の合併により南伊勢町となった。古和浦の氏神は、集落の外れに鎮座する八柱神社である。山の神祭りは1月6日の早朝から当日の準備をし、翌七日に日が替わると行事を始めるので七日当（なぬかど）の祭りとも呼ばれている。土地に住む人々の素朴な信仰を背景に長い年月の間に培われた祭りである。
f246	39分	DVD	二木島祭	二木島祭は「例祭」「島渡り」ともいわれ、二木島湾を挟んで両端に祀られている室古神社、阿古師神社の両神社を祀る祭典で、春5月5日と秋11月3日の年2回行われ、最大の呼び物はそれぞれの神社の名代として出された2隻の関船が8丁櫓で早漕ぎ競争を行うことから「春の漕ぎ合い」「秋の漕ぎ合い」ともいった。しかし、現在では、春の祭りは行われず秋の祭りのみが行われている。
f249	24分	DVD	佐八の羯鼓踊（一般鑑賞編）	佐八町は伊勢市を流れる宮川の上流左岸に所在する。佐八のカンコ踊りは、現在8月15日と16日の両日行われている。15日は「大踊り念仏」とと呼ばれる精霊踊り、16日は秋葉・愛宕神社の祭礼行事であり、踊り場は両日ともに長泉寺に面する地区公民館の前庭である。
f251	28分	DVD	円座の羯鼓踊（一般鑑賞編）	円座町は宮川の上流、佐八の対岸に位置する農村である。円座のカンコ踊りは8月15日に行われるが、前日の14日に「道具揃え」といって、いわば最終のリハーサルが行われる。踊り場はともに正覚寺の境内である。
f253	45分	DVD	麻加江かんこ踊り	麻加江は度会町の北端西に位置し、その集落は宮川中流域の河岸段丘上に形成されている。ここの羯鼓踊りは、八月十五日に地区の寺でもある慶林寺(曹洞宗)を会場に麻加江地区を挙げて伝承されている。
f258	40分	DVD	道方の盆行事	道方は度会郡南伊勢町に位置する集落で、伝統の盆行事が行われている。この作品では、盆行事の中心となる8月14日の大念仏と翌15日のカンコ踊りの模様を紹介している。
f263	18分	DVD	中小俣のかんこ踊り（一般編） インターネット版	伊勢市小俣町では、8月15日に精霊供養のための踊りであるかんこ踊りが、中小俣、下小俣、共敬の3ヶ所に伝わっている。中小俣のかんこ踊りは、「庭入り」「念仏踊り」「銭太鼓」「引踊り」の順で行われ、その模様を紹介している。
f265	16分	DVD	下小俣のかんこ踊り（一般編）	伊勢市小俣町では8月15日に精霊供養のための踊りであるかんこ踊りが、中小俣、下小俣、共敬の3ヶ所に伝わっている。下小俣のかんこ踊りは「庭入り」「念仏」「浮船」「えびす」の順で行われ、その模様を紹介している。
f267	16分	DVD	共敬のかんこ踊り（一般編）	伊勢市小俣町では、8月15日に精霊供養のための踊りであるかんこ踊りが、中小俣、下小俣、共敬の3ヶ所に伝わっている。共敬のかんこ踊りは「入端」「地藏和讃」「精霊踊り」「場付」「豊後」「引踊り」の順に行われ、その模様を紹介している。

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f269	30分	DVD	陽夫多神社 祇園願之山行事	伊賀市馬場に鎮座する陽夫多神社は、延喜式内社に比定される古社です。この神社は陽夫多祇園の名で知られる祇園祭礼行事が伝わり、特徴ある神事芸能が伝承されています。 (付録DVD：資料編１・資料編２)
f270	21分	DVD	有爾中の天王踊 (一般編)	明和町有爾中は伊勢市の北西、宮川と櫛田川の間に位置し、氏神は式内社の宇爾桜神社です。有爾中の天王踊は、7月14日に近い日曜日に宇爾桜神社の境内で行われます。 (付録DVD：記録編・資料編)
f271	35分	DVD	宮川流域のカンコ踊り	三重県は風流踊りの宝庫です。カンコ踊りの名で伝える場合が多いですが、伊勢市で伊勢湾にそそぐ宮川流域はそれが特に濃密に分布した流域であります。これらの伝承は精霊供養という機能を本質としています。構成や形態について地域的な分布などを記録しています。
f272	19分	DVD	比自岐神社祇園祭	伊賀市比自岐神社では、比自岐・摺見・岡波地区を氏子圏として、毎年7月第4日曜日に祇園踊りが行われます。祇園踊りは花トリと祇園踊りからなり、その祭りの模様を紹介しています。 (付録DVD：資料編１・資料編２・資料編３)
f273	19分	DVD	能の源流を伝える 一色の翁舞 広報普及編	伊勢市一色町に伝わる「一色の翁舞」は平成7年に「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、それを受けて組織された記録作成委員会により、「伊勢猿楽関係の映像による記録」が作成されました。 (付録DVD：記録編・資料編・通能編)
f274	35分	DVD	桂畑地蔵踊り 一般編	地蔵踊りは、津市美里町桂畑に伝承されるかんこ踊りで、毎年8月24日に地元の洞雲寺境内で奉納されます。8月17日の役決めから23日までの稽古、24日当日の踊りの模様を収録しています。 (付録DVD：資料編１、２)
f275	113分	DVD	北長野祇園踊り	津市美里町の北長野に伝承される祇園踊りは、長野神社で行われる家内安全、五穀豊穡を祈願する祭りです。8月15日に行われる祭りの始まりから終わりまでを収録しています。
f276	86分	DVD	南長野かんこ踊り	津市美里町南長野地区では、毎年8月15日に豊年満作と子どもたちの成長を祈願する踊りが行われています。地域の保存会により継承されている踊りを紹介する内容です。
f277	33分	DVD	勝手神社の神事踊 一般編	県無形文化財である山畑の神事踊は、毎年10月の第二日曜に伊賀市山畑の勝手神社祭礼に奉納される踊りです。約一カ月前から始まる稽古、祭りの準備、当日の模様を紹介した作品です。 (付属DVD：資料編１、２、３)
f281	29分	DVD	伊勢市御菌町高向 御頭神事 一般普及編	高向の御頭神事は、伊勢地方の新春行事を代表する村祭りの一つです。若者集団による諸行事の模様を収録しています。 (付属DVD：記録編、一般編)
f282	25分	DVD	大江の羯鼓踊り 一般編	大江の羯鼓踊りは、毎年4月20日に陽夫多神社の例大祭に神賑行事として奉納されています。伊賀市指定無形民俗文化財に指定されている羯鼓踊りを収録したものです。 (付属DVD：記録編)

番号	時間	メディア	タイトル	内容
f283	17分	DVD	日置神社の神事踊 ～下柘植～ 一般普及編	伊賀市指定無形民俗文化財に指定されている日置神社の神事踊りは、毎年毎年4月10日に五穀豊穰、天下泰平を願って奉納されます。この作品は平成21・22年の模様を記録しています。 (付属DVD:記録編)
f284	87分	DVD	津まつり	この作品は平成26年10月12日開催の津まつり「郷土芸能の集い」の記録です。津郷土芸能連絡協議会所属の17団体による太鼓や獅子舞など演武の様子が収録されています。・馬場区獅子舞保存会・美杉連山のろし太鼓保存会・榊原湯の瀬太鼓・津音頭保存会・津青年会議所高虎太鼓・白塚獅子舞保存会・美里龍神太鼓・伊予町青壮年会・伊勢津太鼓保存会・津商工会議所青年部 元気玉太鼓・津しゃご馬保存会・津民芸保存会・町屋百人衆・津高虎太鼓華乃津会・分部町唐人踊り保存会・津高虎太鼓・津音頭祭囃子調総披露
g9306	14分	VHS	唄くらべ 伊勢音頭と尾鷲節	三重県下の民謡の中でも全国的に有名なものが、伊勢音頭と尾鷲節。そこで、伊勢音頭や尾鷲節の由来や魅力とともに、これらを楽しむ地元の人たちの思い入れや取り組みについて紹介します。
g9409	14分	VHS	歴史とロマンの島・神島 たこ壺漁とゲーター祭り	鳥羽市神島は、三島由紀夫の小説「潮騒」で一躍有名となったが島の歴史は古く、八代神社に伝わる「画文帯神獣鏡」（6世紀の作品）、そして南北朝時代に起源を持つと言われる奇祭「ゲーター祭り」など古代へのロマンをかきたててくれるものも多く残されている。そこで、今回は神島の味覚として名高いタコ漁とともに、毎年正月行われるゲーター祭など、島の生き字引と言われる橋本達夫氏の話を変えて紹介する。
h178	30分	VHS	新日本紀行19 旅する獅子 山陽・近江路	三重県桑名市に居を構える伊勢太神楽講社の獅子舞集団は、年末から正月にかけて、各地に神楽巡業に出かける。コミックな仕種を変えて伊勢神宮のお札を各家に配ってゆく。600年の伝統を持つ神楽集団の山陽・近江路の旅紀行。（昭和47年3月放送）



番号	時間	メディア	タイトル	内容
f3	20分	VHS	伊賀のくみひも	私たちは郷土三重の伝統産業がどのようにして起こり、どのように発展し、受け継がれようとしているのか、その様子を知りたい。この映画は、郷土の歴史と風土に育まれ、人々の暮らしの中に生きてきた、数多くの伝統的工芸品の中から、「伊賀のくみひも」にスポットをあて、郷土の伝統産業についての理解と関心を深め、新しいコミュニティづくりに役立てようと製作した。
f7	21分	VHS	鈴鹿墨	「鈴鹿墨」ー。その発祥は延暦年間（782年～806年）といわれ、奈良とともに、わが国の二大和墨産地として発展してきた。「鈴鹿墨」はすぐれた墨匠の手づくりの製品で、生産の時期は冬場に集中、厳しい労働条件のもとで作られているが、芳香優美、黒色華麗多くの書道家に愛用されている。昭和55年⑩月、伝統的工芸品として国指定され、全国有数の伝統産業となっている。
f50	42分	VHS	伊勢の遷宮 総集編	第61回神宮式年遷宮が行われた。祭祀の伝統だけでなく、建築、工芸技術を伝承していく文化的貢献の模様を記録する。
f68	25分	VHS	鈴鹿墨と 伊勢型紙	鈴鹿市に古くから伝わる伝統工芸のうち鈴鹿墨と伊勢型紙の沿革及び製作過程を職人さん達の作業場での実演を交えて紹介します。伝統の技を守り伝える職人さん達の意気がひしひしと感じられる映像記録です。
f279	30分	DVD	三重に技あり 伊勢型紙	鈴鹿市の伝統産業である「伊勢型紙」の製作の流れをわかりやすく紹介した内容で、技術継承のための資料として作成された作品です。 （DVD・技術編あり）
f280	30分	DVD	三重に技あり 伊勢型紙技術編	鈴鹿市の伝統産業である「伊勢型紙」の製作過程を2枚のディスクで詳しく紹介しています。ディスク1 型地紙づくり（18分）、突彫（15分）、錐彫（20分） ディスク2 道具彫（20分）、縞彫（19分）、糸入れ（14分）※各工程を見るにはメニュー画面からの操作が必要です。
g9311	14分	VHS	鈴鹿墨と 伊賀くみひも	県内には、郷土の風土と歴史の中で育まれ、庶民の日常生活と密着して維持されてきた伝統工芸品が、いろいろある。その中から今回は、まろやかで深みのある黒色と抜群の伸びの良さで多くの書道家から愛される鈴鹿墨と古来の手法をはぐくみながら、近代感覚に合った優雅な美しさをもつように編みあげられた伊賀組紐を紹介する。
g9406	14分	VHS	魅せられて萬古焼	萬古焼は江戸時代に桑名の沼波弄山が手掛けた「古萬古」が発祥と言われ、現在の「四日市萬古焼」に繋がっている。萬古焼の特色は、鉄分の多い紫泥を使った還元焼製成にあるとされている。現在に生きる萬古焼の伝統と魅力を紹介する。



番号	時間	メディア	タイトル	内容
f248	9分	DVD	熊野古道伊勢路	三重県と和歌山県、奈良県にかけて「熊野古道」と呼ばれる道が今も残っています。この「熊野古道」と高野・熊野・吉野の霊場は、「紀伊山地の霊場と参拝道」として世界遺産に登録されています。このビデオでは「熊野古道伊勢路」の魅力などについて紹介しています。（なお、このビデオは世界遺産登録後に作成されたものです。）
f278	58分	DVD	伊勢神宮 ー生命（いのち）の森ー	伊勢神宮の食の自給を支える神宮の森。この作品では、その神宮の森についての歴史や、神話の世界を思わせる森の様子について解説し、禁足の森に潜む生命の力に迫ります。 （※メニュー画面からの操作が必要になります。本編＝47分35秒、特典：7分26秒）
h293	26分	DVD	三重県ニュース 特報 伊勢湾台風	当時放送された4つのニュースを1枚のDVDにまとめました。「三重県ニュース特報伊勢湾台風第1報 台風15号三重県に空前の猛威昭和34年9月26日」「三重県ニュース特報伊勢湾台風第2報 救援続く被災地」「三重県ニュース特報伊勢湾台風第3報 立ち上がる被災地」「三重県映画復興すすむ県土」手動操作が必要となります。